

たちばな

2022.4.20



(150周年記念館内 ロータスギャラリーB)



新型コロナウイルス感染症に伴う本学の対応につきましては
大学公式ホームページ (<https://www.ris.ac.jp>)にて随時
公開しております。



立正大学校友会 公式LINE

ご挨拶

第35代立正大学長・立正大学校友会長 寺尾 英智



立正大学校友の皆様へ

立正大学は1872（明治5）年の開学以来、9学部16学科7研究科を擁する総合大学へと発展し、2022年で150周年を迎えることができました。

私はこの節目の年である2022年4月より3年間、第35代学

長として健全かつ独自性のある大学経営に努めてまいります。次の50年、100年を見すえ、伝統と新たな知を融合させることで、社会に革新をもたらす人材育成を推進してまいります。教育機関としては、学生が卒業した後も生涯にわたって成長していけるための基礎力を養いながら、個性を磨き専門性を育む環境を整備。研究機関としては、先進的な研究成果を学生指導に還元するとともに、直接的であれ間接的であれ、地域社会、そして国際社会に役立ててまいります。そして、これらの根幹をなす、より強固な財政基盤とガバナンス体制を構築しながら、学生の生涯にわたる成長と、立正大学としてのさらなる発展に向けて努力していく所存です。

さて、近年では開校150周年記念事業を推進する原動力として多くのご支援を賜りましたことを、あらためて感謝申し上げます。とりわけ150周年記念事業募金に多大なるご協力を頂戴できたことで、品川キャンパスの新たなシンボルとなる150周年記念館も竣工に至りました。そして、もちろんこれからも立正大学の歴史は続いていきます。校友の皆様への熱い思いは、必ずや本学の次なるステージへとつなげてまいります。立正大学には歴史があり、多様な知見の蓄積があるものの、直接実感できる場面が少ないとの声があるのも確か。その点、150周年記念館に設けた「石橋湛山書斎（復元）」や「立正ミュージアム」は、立正大学の魅力を可視化する取り組みの一例であり、校友の心の

拠りどころとして本学の価値を発信してまいります。また、品川・熊谷の2つのキャンパスを、ともに地域に開かれた拠点として発展させることにも力を注いでいきます。企業や自治体との社会連携や地域連携事業も活発に進めており、学びの成果を社会に還元することでも、本学の価値を発信できると考えるからです。

こうした過程において、学生には学内外で幅広い経験を重ね、社会に貢献する人材として成長していくことを願っています。それを見守り、支える校友の存在も、150年の歴史を誇る立正大学のかけがえない財産であり、校友の皆様と一致団結しながら、学生の成長と大学としての成長に向けて努力していく所存です。

この春、新型コロナウイルスの感染拡大が続く未曾有の状況下ではありましたが、多くの卒業生を送り出し、多くの新生を迎え入れることができました。卒業生には、歴史ある本学で修得した知識や技術はもちろんのこと、何よりもエキスパートとしての専門性と、モラリストとしての人間性を持って、多方面で社会に貢献していくことを期待しています。新生には、学業や課外活動を通して有意義な学生生活とするべく、本学のリソースを最大限活用してほしいと思います。9学部16学科、専任教員約300名の本学において幅広い学びに挑戦し、自分自身の新たな可能性を見出す目を養い、自らの可能性の芽を开花させてほしいと願っています。



立正大学学園開校150周年記念事業に関するお知らせ

◆開校150周年記念公開講話 オンライン配信

=開校150周年記念公開講話「コロナ禍に生きていく智慧とは=

令和4年に開校150周年を迎えるにあたり、日蓮宗の僧侶の方をお迎えし、コロナ禍における不安やストレスに対してどう向き合うか、日蓮聖人の教えを交えながら語る講話を配信いたします。撮影・編集は立正大学学生広報部「りすこ」が担当しました。

是非、ご視聴ください。ご視聴は下記URLまたはQRコードよりお願い申し上げます。

https://www.ris.ac.jp/150th/contents/n_video.html



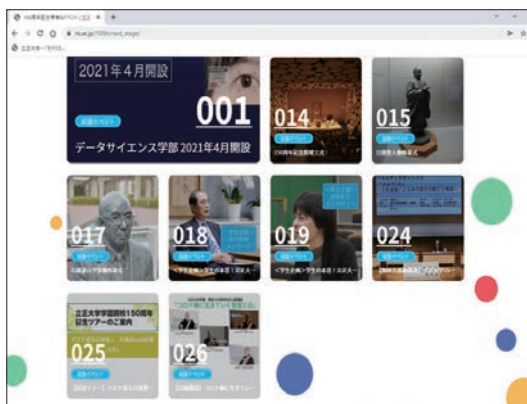
◆開校150周年記念ツアー

◆開校150周年記念ツアー

立正大学学園は2022年に、開校150周年を迎えます。これを記念して、「開校150周年記念ツアー」を予定しております。

第1弾は5月15日(日)に「バスで巡る日蓮聖人・石橋湛山の起源」で石橋湛山記念会館見学と総本山身延山久遠寺参拝(申し込みは終了しております。)を行います。

今後の記念ツアーは「鉄道でつなぐ、知のレガシー(遺産)」・「バスで巡る日蓮聖人の起源」を予定しております。



◆=鉄道でつなぐ、知のレガシー(遺産) = 8月開催予定

本年鉄道開業150周年を迎える、品川を起点に国内最古の路線である高崎線(上野-熊谷間)、北武鉄道との合併から100周年となる秩父鉄道(熊谷-三峰口間)で企画列車を運行する鉄道ツアーを企画しました。

本学の付属高等学校及び大学の鉄道同好会の生徒並びに学生を中心に車内でのイベント企画など、当ツアーならではの楽しい企画がいっぱいです。

◆=バスで巡る日蓮聖人の起源= 11月開催予定

日蓮聖人の起源に触れてみようをテーマに、千葉県の本山小湊山誕生寺若しくは、大本山清澄寺と立正大学発祥の地である飯高寺(飯高檀林)の参拝を中心としたバスツアーを企画しました。日蓮宗僧侶による道中のわかりやすい説明や、誕生寺若しくは清澄寺での体験プログラム、美味しい昼食など、当ツアーならではの貴重で楽しい企画がいっぱいです。(後援:日蓮宗)

今後も順次立正大学学園開校150周年記念事業でのイベントを企画しております。

こちらのサイト (https://www.ris.ac.jp/150th/next_stage/) またはQRコードからご確認ください。

卒業生・保護者の皆様も、お誘い合わせのうえ、ご参加をお待ちしております。



令和4年度 校友会主催保護者懇談会開催のお知らせ

令和4年度の保護者懇談会を下記日程で開催致します。

学生生活や就職等に関する情報収集の場として大学教職員と直接お話いただける機会です。また、同じ大学に在学する学生をお持ちの保護者の皆様同士の交流の場としてもご活用ください。

昨年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、一部地方会場と品川・熊谷キャンパスのみ対面による開催を行いました。また、大学紹介動画や保護者向け就職講座動画、学生生活動画等をオンライン上で公開し、情報提供を行わせていただき、Zoomを使用した個別面談も実施をさせていただきました。

本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮の上、感染防止対策をしっかりと行っただけで、全国13会場にて対面による開催を予定しております。オンラインでの動画等による配信も継続して行います。

開催に関する詳細は、4月中旬より郵送にて順次、保護者の皆様へご案内をお送りさせていただきますので、そちらにて内容をご確認ください。

《お断り》

◆令和4年度よりお申し込み方法が専用WEBサイトからのみに変わります。はがきでのお申し込みではございませんのでご注意ください。

◆本学では5月から10月までの期間クールビズを実施しております。

ノーネクタイ・ノージャケット等軽装で対応させていただきますのでご了承賜りたく存じます。

◆会場では記録用に写真撮影をさせていただきます。ホームページや会報誌等の広報媒体にて使用する場合がございます。

◆会場までの交通費等は各自にてご負担くださいますようお願い申し上げます。

【保護者懇談会開催予定】 *状況によっては変更・中止となる場合がございます。ご了承下さい。

日程	開催地	会場	申込締切日
6月4日(土)	新潟県新潟市	万代シルバーホテル	5月13日(金)
6月11日(土)	岩手県盛岡市	ホテルメトロポリタン盛岡	5月20日(金)
7月17日(日)	東京都品川区	立正大学品川キャンパス	6月17日(金)
8月6日(土)	静岡県静岡市	中島屋グランドホテル	7月15日(金)
8月27日(土)	広島県広島市	広島ガーデンパレス	8月5日(金)
9月10日(土)	福岡県福岡市	ホテルモンテラ・スール福岡	8月26日(金)
9月11日(日)	大阪府大阪市	大阪キャッスルホテル	
9月24日(土)	千葉県千葉市	ホテルグリーンタワー幕張	9月2日(金)
10月1日(土)	北海道札幌市	ホテルニューオータニイン札幌	9月12日(月)
10月9日(日)	埼玉県さいたま市	パレスホテル大宮	
10月22日(土)	福島県郡山市	ホテルプリシード郡山	9月30日(金)
11月12日(土)	沖縄県那覇市	ホテルロイヤルオリオン	10月17日(月)
11月27日(日)	埼玉県熊谷市	立正大学熊谷キャンパス	

校友会費B等納入者芳名 (敬称略 五十音順)

～ありがとうございました～

(令和3年8月1日～令和4年3月31日納入分)

◆北海道

石井 美枝子
磯尾 延行
合瀬 元貴
奥田 勝昭
川瀬 怜
北島 俊生
小谷 每彦
近藤 真司
今野 公一
関 冠字
高橋 定敏
長坂 啓也
中村 啓承
二階堂 雅典
西田 則夫
浜崎 智淳
廣瀬 恵伸
廣瀬 恵清
眞神 勇
吉田 努

◆青森県

漆館 栄一
工藤 明
白戸 是調
間宮 康文
溝口 和孝

◆岩手県

小山 悠
滝田 浩之
田鎖 英明
中野 吉享
箱石 ゆきえ
藤原 耕道
古川 栄子

◆宮城県

石川 晃平
佐藤 泰宣
四竈 健彦
丹野 敏夫
永戸 太郎
目黒 功
吉田 一彦

◆秋田県

赤川 真也
齋藤 雅夫
那須 誠
皆川 典子
宮原 保夫
山本 侑玄

◆山形県

荒木 敏彰
池田 孝司
川越 正彦

近 佳代
近 清剛
佐藤 毅
吉田 清美

◆福島県

浅野 不二男
太田 正孝
小野 研臣
佐藤 優之介
鈴木 秀鳳
中島 隆一
永沼 直好
新妻 宏明
福王 賢二
三瓶 ユキ工
矢吹 康英
渡邊 紗希
渡部 美祐紀

◆茨城県

飯塚 恭孝
小菅 大康
篠崎 一美
根本 豊
橋本 謙静
橋本 一静
長谷川 玄應
深谷 拓朗

◆栃木県

阿部 佐代子
荒居 養雄
飯野 博之
笠原 俊一
須藤 進太郎
三上 隆敏

◆群馬県

大山 篤
岡部 健一
小林 和夫
小林 真一
須田 雅行
長沼 克弥
宮寺 洋子
柳沢 博文

◆埼玉県

石松 明長
市川 幹
稲葉 一洋
岩崎 晴正
臼井 正典
江積 広光
大塚 博
岡崎 勉
岡野 美佐子
岡部 登一

奥山 進次
川島 本良
木村 進
木村 浩人
桐谷 光男
工藤 美奈
熊谷 久美子
小泉 博司
輿石 正通
小林 美恵子
小林 裕介
小宮 忠之
小山 久夫
小山 和香
斉藤 勝次
佐山 邦彦
柴崎 健
柴崎 勇
下田 雅之
須賀 悦子
鈴木 順浩
須藤 陽子
瀬場 巖
高橋 和子
高橋 孝志
高橋 康司
田島 初雪
田島 美恵子

長堀 明英
花島 省悟
原田 宜亮
松浦 幸枝
山崎 光洋
山下 良雄
鷺尾 祐喜義

◆千葉県

井下田 実
石渡 亜喜子
鶴沢 貫秀
遠藤 啓子
尾形 勇
岡野 久
荻野 泰継
奥村 秀夫
尾崎 敏明
片岡 邦雄
川村 治
川村 貫朗
北尾 義昭
北原 輝信
北村 行伸
木村 一男
國方 勢津子
小島 修

小瀧 麗蘭
児玉 俊常
児玉 常優
小山 善之
佐藤 勝美
澤山 和生
白井 道男
鈴野 佳子
竹田 軍郁
竹中 貫昭
田中 安人
田中 貞真
田中 貞龍
塚越 崇徳
中島 教彰
南雲 博明
庭田 純一
二宮 由泰
濱 康能
藤井 秀司
藤崎 剛
松本 照朗
三浦 俊一
水谷 和美
三好 茂隆
山本 和幸
横山 幸永

◆東京都

青木 重幸
秋元 日高
浅野 元紀
朝比奈 貫晃
阿部 大
阿部 珠央
阿部 泰雄
安藤 寛典
安野 敏明
飯沢 伸一
石川 勲
石川 信行
伊藤 伸一
稲見 征夫
今井 芽維
今井 城維
今井 正行
今村 泰子
入江 祥史
岩尾 康延
岩上 守治
牛尾 征治
大谷 治
岡部 禎司
岡村 政代
小川 政紀

小山内 功静
小坂 武雄
春日 寛
神川 清
加茂 佳史
河又 浩昭
川崎 厚子
岸 由晴
國光 登志子
小林 浩茂
坂井 成一
坂詰 教正
猿山 保
三遊亭 神楽
塩原 耕一
嶋 海里
島崎 康夫
荘司 正徳
鈴木 達明
鈴木 良敬
諏訪 紀子
関戸 堯海
高田 和明
高野 武
高橋 美由紀
高橋 靖夫
高橋 弘毅
高村 統一
多田 保夫
田淵 菜穂子
中西 勉
中村 信子
灘光 晋太郎
西 義雄
西崎 友一朗
二ノ宮 啓吉
野坂 法雄
橋本 重喜
初見 達郎
馬場 富男
早川 典久
林 重仁
原田 忠彦
日高 淳
平賀 和也
廣瀬 衛
藤本 幾久
星野 顯聡
堀之内 静
丸岡 静
松本 正人
三浦 慎一郎
水間 覚代
宮下 正

宮田 秀徳
宮本 雄太
三吉 廣明
村田 徹也
村山 一幸
桃井 西郎
森 健二
八木 日照
安田 裕昭
山畑 邦裕
油井 永式
横山 裕
吉川 裕夫
吉田 尚英
芳田 守
米田 欣司
渡邊 彰良
渡邊 哲人
渡邊 寶陽
(宗) 清立院

◆神奈川県

青木 和夫
浅井 慶信
荒井 孝保
今川 喜一
入澤 充
岡野 修
小川 浩正
小川 良雄
小川 庸
荻窪 廣憲
荻原 純夫
奥山 成一
加藤 和夫
金井 義博
金子 竹成
亀井 克郎
神澤 二郎
倉多 亮修
黒田 昭司
小島 勉
後藤 克教
小林 恵美子
小山 晃
佐川 篤志
佐藤 則光
鈴木 嘉昭
鈴木 征
鈴木 洋一
須藤 教裕
須原 洋
高橋 和也
田川 貞光
竹内 成行

内藤 潔
長崎 明
長澤 隆大
中野 隆雄
萩原 幸男
肥田 泰敬
平本 俊弘
古田 俊雄
堀内 良明
増田 幸静
松本 慈恵
三澤 貞一郎
水島 真
森井 健吉
森井 茂
森田 喜久
森本 宏
守屋 宣成
矢島 敏子
由本 健二郎
脇本 謙次男
渡邊 英岳

◆新潟県

秋山 文孝
安中 聡
岡 観亮
佐藤 久美子
諏訪 淳一
竹内 孝浩
寺澤 正夫
中町 理
帆刈 實
宮澤 泰成
山田 正毅
吉田 存祐

◆富山県

四十物 義隆

◆福井県

桑田 博敏
小辻 和夫

◆富山県

清水 浩二
未吉 観道
助重 雄久
中山 博昭
山本 安孜

◆福井県

藤原 徹男

◆山梨県

朝比奈 玄馬
奥野 本通
奥野 本洋
苅込 義旺
菊地 是宗

時澤 豊孝
仲澤 浩祐
町田 英昭
山本 本也
米山 徳彦
渡辺 秀子
◆長野県
大熊 英徳
大野 正訓
小林 隼夫
斉藤 房邦
佐伯 治夫
櫻井 政信
下崎 喜一郎
田畑 清志
塚田 隆
福島 賢雄
丸山 孝一
望月 龍昇
◆岐阜県
橋 妙弘
矢野 忠臣
矢野 義己
◆静岡県
旭 日重
泉 和彦
一木 克昭
伊東 英光

伊藤 通明
瓜島 信行
遠藤 盛宏
大石 純厚
大滝 繁
加藤 真澄
狩野 吉利
木村 政彦
木村 光正
杉村 綾亮
洲脇 誠
塚本 尚登
角田 憲哉
手島 英真
深沢 勇一
古田 芳郎
本間 裕史
門奈 三喜
安田 晃進
安田 幸彦
◆愛知県
石黒 泰良
伊藤 友謙
小久保 要子
佐治 博英
関 輝夫
深沢 友遠
深沢 友延

山川 潮暎
山川 潮悦
◆三重県
坂倉 浩二郎
◆滋賀県
石島 邦男
杉本 正光
中村 龍明
◆京都府
石田 良正
藤原 良恭
◆大阪府
石川 泰皓
竹内 祥起
中西 誠
長谷川 鳳秀
宮脇 由美
山田 玄精
◆兵庫県
小西 顕一郎
佐竹 英文
末道 義隆
谷川 勝一
本間 昇
増田 秀充
◆奈良県
出沖 秀雄
佐竹 祥光

◆和歌山県
阪上 智章
杉若 哲司
中井 克樹
堀 雄幸
◆鳥取県
榎尾 稔正
岡田 信俊
田辺 哲郎
山本 幸利
◆島根県
蔵本 知宏
白根 裕文
原田 明成
原田 宏
堀江 瑛正
堀江 禎正
松井 忠弘
◆岡山県
春名 政弘
松本 誠
八木 一成
◆広島県
奥崎 昭三
小林 信行
鹿内 要秀
多嶋 善孝
花本 耕治

浜吉 計守
村上 壽孝
吉村 均
◆山口県
西嶋 好文
藤 いね子
藤井 豊子
松澤 隆
宮崎 隆子
吉本 光良
◆徳島県
大塚 教行
須恵 泰正
◆香川県
石川 計夫
笹川 龍一
町川 義晃
◆愛媛県
明比 昭治
大野 功喜
岡本 梓
竹田 利夫
森 佳範
◆高知県
吉田 弦
◆福岡県
大庭 順一
塩川 秀敏

鈴木 陽一郎
成田 康彦
藤川 治良
別府 敏雄
◆長崎県
合川 泰通
合川 天心
木寺 浩三
佐藤 靖弘
田川 邦雄
村田 孝仁
堀田 泰淳
堀田 泰基
持永 海鳳
吉村 政嗣
◆熊本県
上田 裕次
落水 泰徳
原 應仁
◆大分県
石井 隆
伊東 祐一
菊尾 栄作
若尾 明智
佐藤 俊雄
高山 善朗
土岐 光
藤本 裕一

吉野 亮
◆宮崎県
井上 光幸
畝原 幸裕
菊地 英記
黒木 報源
四戸 雅巴
森下 恵裕
山口 蓮香
◆鹿児島県
尾上 道雄
木元 徹
遠峯 伸一郎
谷村 昌平
長野 正勝
西原 静則
兵頭 昌明
◆沖縄県
新垣 正則
小渡 敬一
宜寿次 均
金城 保雄
小橋川 春武
照喜名 祥吾

令和4年度校友会費B（卒業生・現元教職員等会費）のご案内

昨年度は校友会費Bにご協力を賜り御礼申し上げます。ご協力いただきました会費は同窓会活動ならびに在学生支援に活用させて頂きました。令和4年度につきましても、多くの卒業生・現元教職員の皆様にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■令和4年度 校友会費Bについて

会費	年会費	納入期間	2022年4月1日～2023年3月31日
納入金額	3,000円	納入回数	年会費のため、上記期間内1回
氏名掲載	校友会費Bをお振込みいただきました方のお名前を会報に掲載させていただきます。つきましては、掲載を「許可する」、「許可しない」のご希望をお伺いしております。お手数ではございますが、振込用紙の通信欄に記載がございますので、どちらか一方に○印をお付けいただき、お振込みくださいますようお願い申し上げます。なお、どちらにも記載が無い場合には原則掲載を「許可いただいた」ものとして掲載させていただきます。ご了承ください。		

02 東京 払込取扱票 通常払込料金 加入者負担

日 理 記 号 番 号 金 額

0 0 1 0 0 0 0 4 1 7 2 5 0 3 0 0 0

立正大学校友会

校友会費B

会員番号: 学部学科名または研究名:

住所: 氏名・フリガナ

（ご連絡先電話番号）

【必ずどちらかに○をお付けください。】
会報誌たちばなの納入者一覧へ氏名の掲載を許可します・許可しません

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）(承認番号 東第55738号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号 0 0 1 0 0 0 0

4 1 7 2 5 0

立正大学校友会

金額 3 0 0 0 0

加入者名 氏名

振替払込請求書兼受領証

金額 3 0 0 0 0

加入者名 氏名

料 目 附 印

備考

この受領証は、大切に保管してください。



令和4年度 校友会事業計画

令和3年度事業報告・決算報告は5月以降に校友会ホームページへ掲載致します。

■令和4年度 校友会事業の取り組みについて

令和4年度は、立正大学学園開校150周年を迎える年となります。より多く大学の近況等の情報を卒業生・保護者の皆様へお伝えし、大学と校友の皆様との繋がり強化に努めてまいります。令和4年度は、立正大学学園開校150周年記念事業の実施を予定しておりますので、校友の皆様にも、ご参加いただき、大学を身近に感じて頂ける機会としていただきたく存じます。

保護者懇談会・ホームカミングデー等のイベントにつきましては、令和3年度に対面とオンラインを併用した形での開催を実施しましたので、令和4年度も引き続き、感染症対策を行いながら、対面実施とオンラインを併用した形で進め、ご参加頂く保護者の皆様が安心してご参加頂ける環境・充実した内容作りを行い、またオンライン上でのコンテンツの充実を図っていきたく考えております。大学の情報発信、校友の皆様との交流を行うツールとしてSNS・ホームページの活用と内容の充実を行ってまいります。

【個別事業について】

①校友会ホームページ・Facebook・LINE

管理と運用を適切に行い、発信情報内容の充実、最新情報の発信を行う。

②生涯メールサービスの運用管理と活用拡大

利用に関する規定の整備と利便性、情報内容の充実を図っていく。

③会員向け広報告知

校友会報「たちばな」の年2回発行と併せて学園新聞（年2回）のお届けにより大学の現状の取組みや在学生の活躍、卒業生の活躍等近況情報を提供する。

④校友会案内パンフレットの作成

立正大学校友会の活動に関する内容を紹介したパンフレットを作成・配布。

⑤在学生支援

- ◆成績優秀奨学生
- ◆大学院研究奨励金
- ◆課外活動助成
- ◆課外活動特別助成
- ◆英会話ラウンジ運営補助
- ◆海外インターンシップ・ボランティア活動奨学金
- ◆学園祭助成
- ◆入学記念品・卒業記念品の贈呈
- ◆感染症対策注意喚起用除菌スプレー配布

【同窓会との協働連携による支援】

- ◆ホームカミングデーでの地方物産展・懇親会等の開催
- ◆体育会強化クラブへのお米支援
- ◆災害等による困窮学生への奨学金支援
- ◆新型コロナウイルス感染症による困窮学生支援としてレトルト食品・乾麺等の配布
- ◆立正大学学園開校150周年記念事業への協力

【橘会（保護者の会）との協働連携による支援】

- ◆橘会奨励賞授与
- ◆新入生への防災キット配布
- ◆経済的困窮学生奨学金支援
- ◆立正大学学園開校150周年記念事業への協力

⑥ホームカミングデー・校友の集い・保護者懇談会開催

- ◆品川キャンパスにて橘花祭（学園祭）開催日（11月6日）に合わせて開催
- ◆各地域で活動されている卒業生による交流会を開催
保護者向け、学生生活相談・就職説明会、大学情報収集の場として教職員と話ができる場を開催

⑦構成団体助成＝校友会の構成団体である同窓会・橘会・郵政会への運営等支援

⑧立正大学学園開校150周年記念事業への協力

今年度は立正大学学園開校150周年を迎えることから、記念事業等への協力を行う

⑨校友会創立15周年記念事業に向けての準備を行う

令和4年度 校友会収支予算 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

収入の部

科目	令和4年度予算	令和3年度予算	増減
校友会費	129,960,000	128,380,000	1,580,000
総計	129,960,000	128,380,000	1,580,000

支出の部

科目	令和4年度 予算	令和3年度 予算	増減
入学記念品作成費	6,200,000	7,472,500	△ 1,272,500
卒業証書（修了証書） ホルダー作成費	922,000	922,000	0
卒業記念品作成費	15,275,000	15,275,000	0
除菌スプレー作成費 （在学生配布用）	3,000,000	3,500,000	△ 500,000
大学院生研究奨励金	1,000,000	1,000,000	0
校友会成績優秀奨学生	10,200,000	9,600,000	600,000
奨励賞賞金*橘会助成費に含む	0	450,000	△ 450,000
課外活動助成金	11,800,000	11,800,000	0
課外活動特別助成費	3,000,000	3,000,000	0
学園祭・体育祭助成金	4,800,000	4,800,000	0
英会話ラウンジ補助費	2,000,000	2,000,000	0
海外インターンシップ補助費	1,500,000	1,500,000	0
大学同窓会助成費	24,500,000	23,061,250	1,438,750
橘会助成費	1,000,000	0	1,000,000
郵政会助成費	900,000	900,000	0
講師講演料	467,754	467,754	0
雑給（業務補助）	367,500	367,500	0
会議会合費	4,140,000	1,770,000	2,370,000
旅費交通費	250,000	300,000	△ 50,000
通信運搬費	10,081,000	10,154,500	△ 73,500
印刷製本費	7,990,000	8,393,837	△ 403,837
委託費	3,271,600	4,004,600	△ 733,000
手数料報酬	401,137	360,000	41,137
公租公課費	20,000	20,000	0
賃借料	200,000	4,400,000	△ 4,200,000
校友会積立金	2,000,000	2,000,000	0
予備費	14,674,009	10,861,059	3,812,950
総計	129,960,000	128,380,000	1,580,000

令和3年度校友の集い ホームカミングデー in 橘花祭 開催報告

11月6日(土)に品川キャンパス1号館および9号館にて、ホームカミングデー in 橘花祭を開催致しました。新型コロナウイルス感染症対策を行い2年振りの開催となりました。多くの卒業生・保護者・地域の方等にご来場いただき、盛会の内に終了することが出来ましたことに感謝申し上げます。

橘会主催 企業人事担当の方による保護者向け就職講演会

企業の人事担当者による就職活動等に関するパネルディスカッションを開催

対談形式にて、東亜電気工業株式会社様・株式会社トータス様の人事担当の方と本学で学生のキャリア支援を行って頂いているキャリアカウンセラーの先生にお話を頂きました。



立笑(正)点

卒業生の落語家による落語・寄席・大喜利を開催し、皆様にお楽しみ頂きました。

古今亭菊龍様・三遊亭神楽様・古今亭志ん五様・三遊亭鳳笑様



大学院文学研究科修了生の集い

板橋勇仁教授・鈴木健之教授・則武海源教授の3名による鼎談 文学研究科のテーマから「生と死」という難しいテーマを時に笑いを含めて分かり易くお話頂き、とても興味深く聴かれていました。



大学史料編纂室協力 写真で見る立正大学の歴史



立正大学社会福祉学部同窓会協力キッズルーム

小さな子供用遊具と絵本等を準備。授乳コーナー・オムツ交換コーナーを完備しました。



保護者懇談会開催報告

令和3年度の保護者懇談会は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、対面による開催を行い併せて、オンライン上でも動画配信等を行いました。今回は10月以降に開催された保護者懇談会についてご報告いたします。

ご参加頂きました、保護者の皆様には新型コロナウイルス感染症対策の為何かとお不便をおかけすることが多かったかと存じますが、無事に開催させて頂くことができましたこと、ご参加頂きました保護者の皆様、ご協力を頂きました教職員の皆様に感謝申し上げます。

◆10月10日(日) 品川キャンパス 参加者：270名

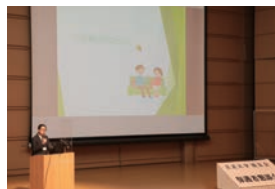
ソーシャルディスタンスの関係上基本1名参加をお願いしました。

◆10月23日(土) 新潟県新潟市「ホテルグローバルビュー新潟」 参加者：8名

◆11月13日(土) 静岡県浜松市「オークラアクティシティ浜松」 参加者：5名

◆12月5日(日) 熊谷キャンパス 参加者：126名

ソーシャルディスタンスの関係上基本1名参加をお願いしました。



品川：学生カウンセリングルームカウンセラー講座



品川：保護者のための就職講座

卒業生・新入生の皆様へ 同窓会活動のお知らせ

立正大学同窓会 会長 齊藤 岐代未



卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。

新入生の皆様150年の伝統ある大学へのご入学おめでとうございます。本日まで支えてこられたご家族や関係者の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。

卒業生の多くの方は実社会に旅立たれますが、コロナ禍の時

代にあっても恐れずひるまず前向きにチャレンジしてください。これからは、自分が実社会にどう役立っているのか分からなくなることも多々あるでしょう。そのような壁にぶつかったときは、学友や恩師、そして多くの同窓会会員に勇気をもって相談してください。皆様の期待に応えられる反応が必ず得られると思います。どうか、社会にある様々な壁に恐れず、新たなステージで実社会に一石を投じて前進させるような活躍を期待しております。

卒業や入学で身の回りの環境が大きく変化する時期で、何かと心忙しい時期でしょうが、2期目の同窓会会長に就任したこの時期に、今後の同窓会活動についてお話をさせていただきます。

まず、新潟県支部の発案による「新潟県支部米作りプロジェクト」活動ですが、令和3年度強化クラブ選手へのお米の贈呈は順調に進み、令和4年度は6月11日に活動開始から3回目の田植えが行われます。この活動は、当初からの目標であったお米を通じて地域との連携、同窓会や大学の知名度向上につなげる目的での展開です。「強化クラブ選手にお米を届ける」ことがゴールではなく、強化クラブ選手も交えた地域交流や連携を視野に入れた持続可能な発展を目指して、更なる進化に取り組んでまいります。

2つ目は、地方創生フォーラムが令和3年11月10日（水）に、立正大学学園開校150周年記念事業として開催されました。そのフォーラムでは著名な建築家・デザイナーの隅研吾氏、北海道東川町長松岡市郎氏、吉川洋学長がパネラーでしたが、フォーラム終了後に三氏と話し合い、同窓会が同フォーラム事業への参画を申し出ました。三氏とも快く承諾をいただきましたので、同窓会としてフォーラム事業にどのように参画・貢献し、事業を具体化できるかを検討することにしました。現時点で構想していることは、11月のホームカミングデーの物産展への参加をお願いし、

東川町の自然や文化、産業の紹介を通し、地方創生の視点を同窓会に取り入れて、北海道支部の協力を得ながら新たな活動を進めていきたいと考えています。

3つ目は、コロナ禍の中、香川県支部には数年間にわたり、全国大会の開催方法の検討にご尽力いただき、大変なご苦勞をお掛けいたしました。相変わらずコロナ禍のもとであります。令和4年度の全国大会は、6月25日（土）に開校150周年を迎える品川キャンパスにおいて行うこととなりました。

このことは、今までにない新たな形の「コロナ禍でも楽しめる全国大会」を実現したいと考え、各学部・支部同窓会の参考材料となるよう開催を予定したものです。是非ご参加いただき、楽しんでください。

4つ目は、新型コロナウイルスの影響を受け活動途中で中断していました教職専門委員会及び女性専門委員会の具現化に踏み出します。具体例をあげると、在学生支援のひとつである就職支援に関して、同窓会会員から自発的に支援活動のバックアップの申し出があり、趣旨を勘案して大学キャリアサポートセンターに結びつけました。大学とのタイアップによる公式な活動として、これから推進していきます。このような活動を含め、一日も早い在学生への支援ができる指針を皆様にお示しできるよう努めてまいります。

同窓会は大学の社会貢献の象徴として位置づけられていることを、同窓会会員の皆様にはより強く認識していただき、現場力を大いに発揮していただきたいと希望しています。そして、今後とも刻々と変化する状況に的確に対応し、同窓会会員に対するきめ細かな情報発信や関係する皆様との連携・協働による適切な対策のもとに、同窓会は様々な事業を進めてまいります。特に、同窓会が在学生支援のために何ができるか、在学生が何を求めているかを知るために、在学生を対象としたアンケート調査を実施することを検討しています。

以上、持続可能な同窓会の発展のために、新たな主体との協働による取り組みを含め、これから取り組む施策を推進していくことをお話しさせていただきました。いずれも重要な課題ではありますが、課題の大きさに怯んで歩みを止めることなく、しっかり将来を見据えた着実に具体的な取り組みを進めてまいります。

同窓会会員の皆様、卒業生及び新入生の皆様には引き続き同窓会活動に、ご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

次期同窓会長選挙報告

令和4年2月12日(土)に品川キャンパスにて対面による臨時代議員会を開催し、次期同窓会長選挙を行う予定でしたが、オミクロン株感染拡大の為、郵送投票を行いました。

既にホームページで公示しておりますが、1名の会長候補者のため信任投票が行われ、開票の結果、齊藤岐代末氏が承認されました。監事立ち合いのもと、選挙管理委員会による開票作業の様子は、Zoomにて全国の代議員の皆様へお届けいたしました。

令和4年度同窓会全国大会開催のご案内

令和4年度立正大学同窓会全国大会を品川キャンパスにて開催致します。今年度は、立正大学学園開校150周年を迎える年でもありますので、卒業生の皆様、大学を盛り上げていきましょう!!



日程: 令和4年6月25日(土)

時間(予定): 受付: 12:00

開会・物故者法要等: 13:00~13:30

記念講演会: 13:45~14:45

キャンパス見学: 15:00~

会場: 立正大学 品川キャンパス 石橋湛山記念講堂

住所: 東京都品川区大崎4-2-16 TEL: 03-3493-6673 (学長室校友課)

【記念講演会講師】

北海道東川町 町長 松岡市郎 氏

地域プロデューサー 鈴木輝隆 氏

昨年立正大学品川キャンパスにて開催された「立正大学開校150周年記念三者連携と地方創生フォーラム1人より3人」でご講演をいただきました北海道東川町 松岡市郎町長と、立正大学地域連携センター・地域連携チーフプロデューサーであり、北海道東川町魅力創造アドバイザーもされている鈴木輝隆先生による対談形式の講演会を開催致します。

持続可能な地域の創造、自治力や文化力、経済力を高める活動の取組等についてお話頂きます。卒業生のみならず多くの皆様のご来場をお待ちしております。

令和3年度課外活動顕彰

～ 頑張った在学生へ同窓会より祝賀を贈呈 ～

令和3年度の課外活動顕彰が発表され、頑張った在学生へ同窓会より祝賀を贈呈しました。顕彰された課外活動団体および個人の皆様おめでとうございます!!

【団体部門】

◆体育会水泳部 ◆体育会射撃部 ◆独立団体吹奏楽部 ◆体育会排球部 ◆体育会剣道部

【個人部門】

◆体育会射撃部	岩田怜士さん	◆体育会射撃部	関野優真さん
◆体育会射撃部	金坂頼樹さん	◆体育会射撃部	小林篤史さん
◆体育会射撃部	成川和馬さん	◆体育会水泳部	高久麻希さん
◆体育会弓道部	岡崎花帆さん	◆体育会排球部	星名勇佑さん
◆体育会剣道部	山中実優さん	◆体育会剣道部	飯塚保斗さん
◆体育会剣道部	菅原義仁さん	◆体育会剣道部	須磨弥月さん

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます 入学生の皆さんご入学おめでとうございます

立正大学橋会 会長 若林 壽学



入学生の皆さんご入学おめでとうございます。

今日迄、コロナ禍の中、深い愛情を注ぎ成長を見守ってこられたご家族皆様のお慶びも格別のことと存じます。心よりお慶び申し上げます。

ご入学された皆さんは、これから始まる学生生活を前に大いに意欲を燃やしていることと思います。大学では専門知識や技術を身に付けて頂き多くの人達との交流を通じて、豊かな人間性を育てて頂きたく願っております。

橋会は、本学に在学する学生の保護者の皆様を会員とする団体で、大学と会員が連携して教育、課外活動、学生生活向上に資すると共に会員相互の親睦に寄与することを目的とし「立正大学橋会会則」に則り、毎年1回定期総会を開催し、橋会役員選出、年間事業計画、予算決算等の重要事項について審議を行っております。また、本年度から学生支援の一環として、勉学意欲があるが経済上学費の支弁が困難である学生に対して学習や研究活動を奨励する事を目的とした奨学金支援の設立を進めております。内容等、決定次第ご案内いたします。

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

卒業された皆さんは大変不便な時期を乗り越えてこられたことと思います。大学生活で培った強い意志を持って、これからの新しい環境を突き進んでください。

橋会の活動としては、校友会と連携し毎年全国13会場で保護者懇談会の開催、品川キャンパスでの定期総会等の開催を行う予定でしたが、昨年度もコロナ感染拡大防止の為、ほぼ中止となりました。今年度につきましても、引き続き状況を見極めながら各地域において、就職活動、成績、学生さんに対する上手な付き合い方や支援方法等、非常に充実した内容の懇談会を予定しておりますので、何卒ご参加の程よろしく願いいたします。

また、在学生支援として、文化スポーツ・地域活動等ジャンルを問わず授与しております橋会奨励賞もございますので、在学中の証として積極的に挑戦してください。

新入生には、災害支援セットを配布しており、近年地震や台風等による災害が多発しており少しでもお役に立てればと思う次第です。

保護者の皆様におかれましては、常日頃から橋会の活動に対しご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。橋会の活動に積極的に参加され、学生達の安定・安心が出来る学生生活が実り多いものとなりますよう心より祈念申し上げます。

最後になりますが、コロナ禍の終息がいまだに見通せない困難な時期ではありますが、大学側と歩調を合わせながら活動を進めてまいりますので、皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう何卒、よろしくお願い申し上げます。

令和3年度 立正大学橘会奨励賞

橘会では学生を対象に、学術・文化・スポーツ・慈善活動・その他広範囲の分野において活躍・努力している個人・団体を表彰しています。

【受賞者】

◆**優秀賞** 大学院 地球環境科学研究科 環境システム学専攻 伊東 優希さん

◆**努力賞** 立正大学 文学部 社会学科 4年 大石 怜奈さん

表彰式は5月28日（土）開催の橘会定期総会にて執り行われます。

令和4年度 橘会定期総会開催のご案内

令和4年度の橘会定期総会を開催致します。多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

日程：令和4年5月28日（土） 14：00～16：00

会場：品川キャンパス 150周年記念館 ロータスホール（予定）

◆第1部＝橘会奨励賞授賞式

第2部＝定期総会

＊令和3年度事業報告・決算報告 ＊会計監査報告 ＊役員交代の件

＊令和4年度事業計画案・予算案承認

＊立正150橘会基金（奨学金）運用について

＊立正大学学園開校150周年記念事業募金に関する報告

＊学生支援について ＊その他

申込方法：後日送付致します「立正大学橘会定期総会開催のご案内」をご参照いただきお申してください。

問い合わせ先：立正大学学長室校友課 TEL：03-3493-6673 Email:alu@ris.ac.jp

＊新型コロナウイルス感染症の状況によっては開催の中止・延期およびオンラインシステム（Zoom等）を利用した開催へ変更させて頂く場合がございます。予めご了承賜りますようお願い申し上げます。

立正150橘会基金設立と学生支援に関するお知らせ

橘会では、過去からの保護者の皆様から頂いた会費の有効活用を考える中で、学生支援を行う方法として基金を設立し、奨学金支給を行う案を検討してまいりました。

昨年度に開催された定期総会において、承認を頂いておりますが、運用方法等詳細に関して現状最終的な調整を行っております。

今後、正式に運用が開始されましたら、改めてご案内させていただきます。

【立正150橘会基金・学生支援実施予定内容】

◆成績に関係なく、環境や経済的事情により学費の支弁が困難な学生および家計急変による勉学が困難な学生に向けての支援とする。

◆支給予定額：1名あたり年間100,000円～500,000円の間とし、各自の状況により支給する。

◆対象予定数：年間4名～20名の間で申込人数・各自の状況により決定する。

自己実現させる勇気を持つとう

立正大学郵政会 会長 市川 幹



卒業生・修了生の皆様ご卒業おめでとうございます。

新入生の皆様ご入学おめでとうございます。

また、郵政会員、剣道部の皆様お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

会員の皆様には、平素は郵政会活動・校友会活動に物心ともにご支援を頂き、立正大学の発展に貢献出来ましたこと深く感謝申し上げます。

今年も新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置がほぼ日本全国に発せられ、郵政会の活動も自粛しておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

郵政会は昭和34年（1959年）4月に元郵政省に就職を希望する学生を支援する学生会として発足し今年63年を迎えます。

郵政会では全国11地区に約8,000名の会員が郵政部内・部外で活躍されています。郵政省は2007年10月1日に分割民営化され、親会社の日本郵政株式会社と日本郵便株式会社・株式会社ゆうちょ銀行・株式会社かんぽ生命となりました。其々の会社の経営方針は「公共インフラ」、「信頼性」、「効率性」、「経済性」を掲げて、昨年末の中間決算で純利益を出しました。「公共性」、「企業性」のバランスのとれた高齢化社会にマッチした三事業を展開しています。

立正大学郵政会も産学共同の一環として、新会員・修了生に申し上げたいと思います。

小学校・中学校・高等学校時代は正解が一つでしたが、大学では答えは複数あることを認識してほしいです。また自分自身を知ることも重要なことです。コロナ収束後の社会・経済・価値観の変化を考える時、私たちはどの様に対応していかなければならないか、人類が生存し繁栄してきた原因の一つに「人間は勇気によって動物や自然を征服してきた」と言われています。

では、人間の生きがいは人間本来の自己実現する時、その人の本能や才能がもたらす人の為に行う行為や社会貢献ではないでしょうか。

立正大学の建学の精神「真実を求め至誠を捧げよう」、「正義を尊び邪悪を除こう」、「平和を願い人類に尽そう」この建学の精神こそ、自己実現だと思います。

今年は、立正大学学園開校150周年記念です。記念事業に取り組んでおりますので、是非ご協力をお願い申し上げます。

今年度の郵政会活動予定は、郵政事業に関する講師による研修・本部役員会・総会・全国支部長会議・校友会協働連携事業・同窓会総会等への参加、必要に応じた会議を行う予定です。

校友会会員の皆様のご多幸とご活躍を心からお祈り申し上げます。

本学初の『芸術院会員』 『日展の顔として活躍中の星弘道理事が《芸術院会員》に』

立正大学特別栄誉教授 渡邊 寶陽

新たな『芸術院会員』が選ばれた。その中に、本学出身の「星 弘道」氏が選ばれ、嬉しさいっぱいである。後述するように、本学関係者にもいろいろな書道家が居るが、『芸術院会員』に選ばれたのは星弘道氏が初めてである。氏の荣誉に、大きな誇りを感じている。学生時代も書道に熱心であったようだが、卒業後には一段と精進し、一日八時間を費やして、身体が維持出来ないほどであったと聞いた。僕は学部長時代の課長に随分助けてもらったが、氏は彼と同級生であったので、そんな内輪話を耳にした。

《芸術院会員》には、簡単に選ばれるものではない。氏は、栃木県宇都宮市の出身となっているが、書に関しては故郷・茨城県の師範・浅香鉄心氏に師事していたように記憶している。だが、やはり一人の師に就いただけでは駄目とさとり、名を挙げた書家をつぎつぎと訪ねて、教を請うたということである。氏は、『日本書作院展』の理事長でもある。同会は毎年、数万点の書作の展覧会を「国立美術館」で開催している。そのことからわかるように、大勢の門下を擁しているのである。

『日展』第五部会の「書道」の書家達には、実に多彩な方々がお出でだが、『朝日新聞』でも、星氏は一定の型にとどまらず、融通無碍な書の世界を体現していると紹介されている。伝統的な仏教の宗門では、能

書の僧が称賛されるようであるが、日蓮宗では注目度が薄いようで、残念に思っている。おそらく、立正大学関係者も、氏の名声をご存じない向きが多いのではないでなかろうか。

曾て、故野村耀昌教授は書に巧みで、各学部関係の「学会」開催の時には、野村教授に看板を書いてもらった。教授は、そんな依頼にも気軽に対応していた。が、実は教授は『毎日書道展』の審査員であったのである。教授は、著名な書家・画家の落款なども気軽に制作したという。ふりかえって、一芸の方に対する認識のなさに、今更ながら無念の思いを新たにす。平山観月教授や田淵保夫（田淵観斎）教授のことを思い起こす。

なお、『大崎学報』の題字は、岩谷小波(さざなみ)であったか、御舎弟の書であったかと聞く。『日本語大辞典』（講談社カラー版）によると、岩波小波（1870年～1933年）は児童文学草創期の第一人者。日本最初の創作童話で『日本昔噺』などの作品で知られるという。（仏教学部関係者も知らないと思うので余言を誌した。）

つつい、芸術院会員のことに終始してしまったが、本学には、多面にわたる俊秀の教授諸侯が盛名を得てお出でである。秀でた学才に彩られた教授諸侯の功績に敬意を表したいとしみじみ思う次第である。



芸術院会員 星弘道氏の書「優曇華」



故野村耀昌教授の書「忘機」

校友会から卒業生・入学生へ 記念品の贈呈 橘会から入学生へ 防災キットを配布

卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。入学生の皆様ご入学おめでとうございます。

ご卒業、ご入学をお祝いして校友会より記念品を贈呈いたしました。

また、橘会より学生支援の一環として、防災キットを配布いたしました。

今後の皆様のご活躍を祈念しております。



動画『東日本大震災から10年を振り返って』公開のご案内

東日本大震災から11年が過ぎましたが、復興は中々進んでいない状況もあります。

今回、校友会では、ボランティア活動推進センター協力のもと、東日本大震災発生当初から学生、教職員が被災地でのボランティア活動を行ってきた記録を動画としてご紹介させていただきました。多くの皆様にご視聴頂ければ幸いです。

◆ボランティア活動推進センター紹介◆

所在地：立正大学熊谷キャンパス 17号館1階

ボランティア活動推進センター（通称ボラセン）は社会福祉学部の前身である短大でのボランティア活動の伝統を引き継ぎ、社会福祉学部の機関として2002年に設置されました。学部付置であることから、福祉ボランティアのニーズは高いのですが、最近では立正大学全学生が利用できる機関として、災害支援などを中心に徐々に活動の範囲を広げています。2015年にはボランティア功労者厚生労働大臣賞表彰を受賞致しました。この表彰は福祉分野等へのボランティア活動を長年率先して行っている、または永年にわたりボランティア活動への支援を行っている企業・団体でその功績が特に顕著であると認められるものを表彰する制度です。

◆ご視聴用アドレス◆

<https://alumni.rissho.jp/topics/alumni/fix-student-volunteer.html>

校友会からのお知らせ

ボランティア活動推進センター全学化記念
「東日本大震災から10年を振り返って」【動画公開】

ボランティア活動推進センターは社会福祉学部の前身である短期大学部でのボランティア活動の伝統を引き継ぎ、社会福祉学部の機関として2002年に設置され、2021年に全学化されました。今回、ボランティア活動推進センターが全学化されたことを受け、ボランティア活動推進センターが長年取り組み、多くの学生が活動に参加した「東日本大震災」後のボランティア活動について、「東日本大震災から10年」という時間の流れも含めて、今回動画による活動の内容を皆様にご視聴頂きたく存じます。

東日本大震災から10年を振り返って
立正大学熊谷校校友連より

ボランティア活動推進センター全学化記念

東日本大震災から10年を振り返って



INFORMATION

立正大学生涯メールに関するご案内

立正大学では、卒業生・修了生が卒業後も使用出来るメールサービスを行なっております。

同窓生同士の交流を始め、大学との情報交換等にご利用頂ければと存じます。

メールサービスは無償・永年利用可能となります。

ただし、生涯メール利用のお申込後、1年間メールの使用が無かった場合は、管理上、利用を停止させていただきますので、ご了承ください。

なお、メールご利用の再開につきましては、学長室校友課宛にご連絡をいただきましたら、ご利用再開のお手続を行わせていただきます。生涯メールにつきましては、校友会ホームページへも掲載がございますので、併せてご参照ください。

[【立正大学校友会ホームページ】](https://alumni.rissho.jp/inquiry/mail.html)

<https://alumni.rissho.jp/inquiry/mail.html>

【お問い合わせ先】 学長室校友課 (TEL) 03-3493-6673
(Email) alu@ris.ac.jp

校友会会員情報について

ご登録を頂いておりますお名前・ご住所・電話番号・勤務先等のご変更および訂正等がございましたら、下記までご連絡ください。

【変更内容】

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- ◆メールアドレス ◆勤務先・職業

*変更に関するご連絡を頂く場合には、校友会会員番号(校友会報・学園新聞宛名下にある番号)を併せてお知らせください。

【お問い合わせ・お届け先】

立正大学学長室校友課

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

☎03-3493-6673 FAX : 03-3493-9068

Email : alu@ris.ac.jp

■専用紙は立正大学校友会ホームページよりダウンロード頂けます (<https://alumni.rissho.jp/inquiry/data.html>)

【お知らせください】

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の方のご活躍情報がございましたら、お寄せ下さい。

教職員訃報

【令和3年8月1日～令和4年3月31日】

名誉教授	高 島 正 人 氏	(令和3年9月15日)	逝去)
名誉教授	齋 藤 昌 男 氏	(令和3年10月18日)	逝去)
元職員	佐 藤 康 平 氏		逝去)
元職員	新 目 永 次 氏		逝去)
元法人事務局長	武 越 罔 昭 氏	(令和4年1月7日)	逝去)
元文学部教授	神 田 修 氏	(令和4年2月25日)	逝去)
名誉教授	沼 義 昭 氏	(令和4年3月10日)	逝去)
名誉教授	仁 木 勝 治 氏	(令和4年3月17日)	逝去)

謹んで哀悼の意を表します



発行者

発行人

編集

電話

URL

立正大学校友会

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

立正大学長・校友会長 寺尾英智

立正大学学長室校友課

03-3493-6673

<https://alumni.rissho.jp/>